



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 美咲会	代表者	熊木 佐知男	法人・ 事業所 の特徴	法人：富士見市、三芳町に拠点をもち、特養・ショート・デイ・グループホーム・小規模多機能・地域包括(2事業)・居宅介護支援事業所・オレンジサポートセンターの9つの介護保険事業を展開している。 事業所：外出する機会を多く持ち、ご利用者が住み慣れた地域に出て、楽しんでいただけるように支援しています。
事業所名	小規模多機能ホーム みずほ苑	管理者	山田 剛史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	朝礼時や会議時などに把握できていない情報を確認していく。	「朝礼時に実施する」といった表現だけでは頻度が分かりにくいので、「毎朝礼時」「週1回」など、実施回数や頻度を明確にした方が計画を意識しやすいと思いました。	目標を立てるだけでなく、実際に取り組みやすい内容か確認する必要があると思います。達成可能な目標にしていこうと、継続的な改善につながるのではないかと思います。	「毎朝礼時」「毎週金曜日」「月1回の会議時」など、具体的な時期や回数を設定することで取り組みやすい計画作成を意識していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	分かりやすい案内表示を設置し、家族や地域の方々がより気軽に訪れやすい環境を整備します。	関沢みずほ苑の入り口が自動ドアで入りやすい環境となっていることから、地域の方が相談しやすい雰囲気づくりにつながっていると思います。	防犯対策についても重要視されており、職員通用口の暗証番号変更ルールを設けるなど、安全管理への取り組みを行っていることがよくわかりました。今後も地域に開かれた事業所づくりを意識していってほしいと思います。	利用者、家族の意見を聴き、居心地の良い空間作りに反映する。
C. 事業所と地域のかかわり	SNSなどを活用し、事業所の活動や地域貢献についての情報配信を強化します。また、地域の方々、特に子供たちとの交流を深めるため、地域行事において利用者と一緒に駄菓子販売を実施します。	利用者も子供たちとの関わりを楽しみにされており、交流の場づくりにつながっていたのかなと思います。今後も地域イベント等を活用し、小規模多機能の活動を知ってもらい取り組みが必要と思われます。	住宅街の中にあるため、地域に開かれた事業所であることが外部から分かりにくい面もあるが、地域イベントへ参加し、小規模多機能の活動内容を知ってもらうことが、地域理解につながっているのではないかと思います。	保育園や学童との交流は継続していき、新たに子ども食堂にご利用者と参加するなどし、小規模多機能の活動を地域へ発信していく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	町会運動会や市内一斉清掃など、地域行事への利用者の参加を継続・強化していきます。また、地域の相談や困りごとに対応するため、地域包括支援センターとの連携を深めていきます。	送迎中に地域の困りごとへ気づき、地域包括支援センターへつなげるなど、連携した対応が行えていたと思います。今後も地域との関わり、地域包括支援センターとの連携を継続していくことが大切だと思います。	送迎車に事業所名が入っていることで、地域の方に事業所を知ってもらえるきっかけになっているとおもいます。	地域行事への参加や地域住民への挨拶・声掛けを継続し、地域との関わりを深めていく。また、送迎時などに地域の困りごとに気が付いた際は、地域包括支援センターと連携していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の活性化を図るため、社会福祉協議会のボランティア担当をはじめとする地域関係者に参加を呼びかけ、より活発で実りある会議の実現を目指します。	地域の困りごとや最近の地域状況について共有し、地域とのつながりを意識した会議運営が行えていたと思います。	運営推進会議では、地域の状況や事業所内での出来事について情報共有が行えていると思います。個人情報の配慮が必要なため、具体的な事例検討には一定の難しさがあると考えられます。	副町会長から毎会議時に地域のイベントのお知らせがあるため、小規模多機能の利用者と参加できるようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災力向上と連携強化を目指し、地域の防災訓練に積極的に参加します。また、当施設で実施する防災訓練には地域の方々にも参加を呼び掛け、相互協力の機会を設けます。これらの取り組みを通じて、災害時に地域と施設が協力し合える体制を構築し、利用者と地域住民の安全確保に努めます。	地域に住んでいる方にも訓練へ参加してもらうことで、災害時の協力体制づくりにつながっていると思いました。	実際なにか起きた時には地域の人の手も借りざるを得ない。普段からのつながりが大切だと改めて思いました。訓練の様子を地域の方に知ってもらうことで、施設への安心感につながっていると思いました。	地域住民にも参加を呼び掛けた防災訓練を継続し、災害時に協力し合える関係づくりを行う。また、地域との日頃からのつながりを大事にし、防災意識の共有を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月17日(16:30~17:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	渡辺・宮本・山田・鈴木

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	人	人	10人

前回の改善計画	・ 契約時にケアマネージャーだけではなく、介護職員も同席してニーズを聞き取り、利用開始の際に本人や家族が不安なく利用ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	前回の改善計画に対する取組み結果 ・ 本人、家族の不安要素を確認し、利用前に介護職員と共有して対応策を考えることができた。契約時の同席は見学時にそのまま契約となることが多く、調整が難しいことが多かった

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	2			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	2			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	9	1			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	2			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 新しく利用される利用者に積極的に声をかけている ・ 利用開始前に本人の情報やニーズについて共有できている ・ 本人の情報はミーティングを通して共有できおり、初めての利用日は本人が緊張されているケースが多い。職員が寄り添い、積極的に声掛けし、当日の様子をタブレットに詳細に記録するようにしている。 ・ 初回利用で緊張している利用者に配慮した声掛けができていた ・ 家族や介護者の不安を受け止め、声掛けや配慮ができている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 契約時に介護職員の同席ができていない ・ 初回利用から1カ月くらいは職員が気になることや本人の言動、行動などを記録していたが、その記録の期間が短くなっているように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 記録確認時に日直中心に初回利用の方の記録を確認し、不足分あれば共有していく ・ 新規利用者の見学対応の依頼があった時点で介護職員の同席が可能な日にちをあらかじめ把握しておく	

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	人	人	8人

前回の改善計画	
・本人の当面の目標「～したい」をより理解するために、ケース担当を中心に興味関心チェックシートを活用していく	
前回の改善計画に対する取組み結果	前回の改善計画に対する取組み結果
普段のコミュニケーションの中で利用者とのやり取りを理解、共有することはできているが、興味関心チェックシートの活用があまりできていなかった	

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	4	6			10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	6	4			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4	6			10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	8	2			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コミュニケーションの中で「～したい」の声を理解し、共有して取り組んでいる ・本人が興味を持っている事、出来ること出来ないことの見極めができている ・関わった内容を会議などで共有し、次の対応に活かしている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・実施した内容はミーティング、会議などで発言し、振り返ることはできているが、次の本人が「～したい」という目標の対応が十分ではない ・職員によって支援の仕方がことなる ・興味関心チェックシートが生かせていない	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・興味関心チェックシートが活用できるようシートのみ別で保管し、いつでも確認や付け足しがしやすい状態にしておく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月18日(16:30~17:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	渡辺・中川・前島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	人	人	10人

前回の改善計画	・本人の自宅での生活環境を理解するために、ケース担当が「以前の暮らし方」を10個以上聞き取り、共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人からの聞き取りでおおむね把握し、共有することはできているが、認知症や言語の問題で聞き取ることが難しい方もいる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	4	6			10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	1			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	8	2			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10				10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	10				10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の気持ちの理解や体調等職員間で共有している。 ・本人の状況に合わせ、本人の気持ちを受け入れ、最善に取り組んでいる ・季節の変わり目などは特に体調の変化に気を付け、いつもと違うような言動、行動があった場合はその場で情報を共有し、原因究明に努めている。また、体調に応じた食事、入浴、排せつの対応も本人の負担にならないようにしている。 ・本人の様子を見て声掛け、話をしている。 ・体調の変化などその都度対応できている(滞在時間、食事量など) ・通いを休んでいる方に対し、電話連絡することで気持ちに寄り添っている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の自宅での生活環境の理解が乏しい ・本人の声にならない声の言語化がきちんとできているかわからない ・言語の問題で柔軟な対応がむずかしいときがある。 ・外国の利用者の方とのコミュニケーションで翻訳機がうまく使えない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・朝礼や会議時などに把握できていない情報を確認していく ・言語コミュニケーションが難しい人に対してのコミュニケーション方法については家族等と方法について密に共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月18日（16：30～17：30）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	渡辺・中川・前島

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	6人	人	人	10人

前回の改善計画	・会議などを通して顔の見える関係づくりに取り組み、民生委員との連携を図っていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	前回の改善計画に対する取り組み結果 民生委員との繋がりとは出来ていないことが多かったが、近所の人などと送迎時や訪問時に接することができたことによって、連携することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	7	3			10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	9	1			10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	5	5			10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	6	3	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人とのコミュニケーションの中で家での生活が大体把握できている ・送迎時など、本人と地域とのあいさつで関わっている ・本人と家族や地域との関係は切らず、連絡を取りながら情報共有ができている ・地域との関係が切れないようにイベントなどに参加できている。 ・利用者が孤立しないように、地域との関係が続くように支援している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の生活スタイルはある程度把握できているものの、人間関係は理解できないことも多い ・独居が難しくなってきた方への施設の提案をするタイミングが難しい	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・送迎時や訪問時などで地域の方、近所の方と関わる際は積極的に声をかけ、相手側が話しかけやすい雰囲気作りを心掛ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月19日（16：30～17：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	渡辺・平居・楳木

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	3人	人	人	10人

前回の改善計画	・富士見市社協と連携して、個別のボランティアは継続して受け入れができていたため、今後は団体ボランティアなども積極的に受け入れていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・本人の変化を共有して都度対応はできている。イベント事を通して団体ボランティアとの関りはあるが少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	9	1			10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	10				10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	10				10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	10				10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の人との交流やボランティアの受け入れ ・本人の変化を共有し、柔軟な支援ができている ・ボランティアの受け入れは地域連携もできていてとてもいいと思う。 ・ニーズに応じた対応ができている。 ・「変化」「違和感」を気がかりシートを活用したり、翌日の朝の申し送りで共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・団体ボランティアの受け入れが少ない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ニーズを把握し、ボランティアの受け入れの拡充をしていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月19日（16：30～17：30）
6. 連携・協働	メンバー	渡辺・平居・精木

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10人	人	人	人	10人

前回の改善計画	・町会の地区運動会や防災訓練に、職員だけでなくご利用者も一緒に参加ができるように、年間スケジュールで予定を組む
前回の改善計画に対する取り組み結果	前回の改善計画に対する取り組み結果 ・年間スケジュールで把握することにより、意識が高まり、利用者へのアナウンスや実施がスムーズに行えた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	7	3			10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	9	1			10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	9	1			10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	9	1			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・夏祭りや横丁などの地域の方が参加できるイベントの開催 ・町会の運動会に利用者も一緒に参加できている。 ・子ども食堂、季節のイベント等積極的に取り組んでいる ・利用者と地区運動会に参加することで、地域の方との関りができてとても良いと思う。 ・子ども食堂など地域住民が行きやすい	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・防災訓練は職員だけでなく、ご利用者も一緒に参加しているが、防災の基本的な知識を職員だけでなく、ご利用者と一緒に学ぶ機会が少ない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者と職員が共に防災知識を学び、実践する機会を増やし、日常的な防災意識の向上を目指す	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10 人	人	人	人	人

前回の改善計画	・地域向けイベントにご利用者も参加していただき、地域の方との交流を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	前回の改善計画に対する取組み結果 ・地域向けイベントには積極的に参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	7	3			10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10				10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10				10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	10				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・夏祭りなど、地域の方やご利用者も参加して交流できている ・パワーアップ体操に参加していただき、地域の方との交流が取れている ・意見、苦情、相談などきちんと受け止め、情報を共有し迅速に対応している。 ・利用者や家族からの意見を聞き、運営に反映している
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所のあり方に職員として意見が特にない ・登録者以外の地域の方からいただいた意見、苦情は反映できているが、十分に引き出せていないように感じる
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・意見苦情は会議時にただ事実を共有するだけでなく、改善策も含めて全員が理解できるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月20日（16：30～17：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	渡辺・宮本・前島・直井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	3人	人	人	人

前回の改善計画	・外部研修に非常勤職員も年1回以上参加し、スキルアップを図っていく。また、研修参加後は伝達研修も実施をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日程が決まった段階で会議時だけでなく朝礼や個別に周知していたため、参加率が上がった。伝達研修に関しては資料配布のみになってしまうこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	9	1			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	2			10
③	地域連絡会に参加していますか	8	2			10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	9	1			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修の受講 ・気がかりシートやヒヤリハットを活用して対策、共有できている。 ・職場内外に限らず、出来る限り参加している ・スキルアップの研修やリスクマネジメントについてしっかりと学習することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修外のスキルアップの機会 ・資格取得やスキルアップのための研修はなかなか参加できていない ・研修に出られなかった職員への伝達研修ができている時とできていないときがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・研修に参加するだけでなく、他職員にアウトプットすることを意識して参加してもらい、積極的に伝達してもらう	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月20日(16:30~17:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	渡辺・宮本・前島・直井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	1人	人	人	10人

前回の改善計画	・ 成年後見制度の理解だけではなく、日常生活自立支援事業の内容についても再度学ぶ機会を設け、説明できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 実際成年後見制度を利用する方がいたため、おおよその流れは把握することができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	10				10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	1			10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	1			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 利用者の尊厳を大事にしている。 ・ 人権もプライバシーもしっかり守れている ・ プライバシーにも配慮し、利用者を不安にさせないよう対応している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 説明できるほど、理解しきれていない ・ 内容が難しく、理解が乏しい ・ 離苑の可能性が高い時に施設することがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 成年後見制度等について実際利用している人の利用準備から開始までの流れを把握し、理解を深めていく	